



平成 22 年 1 月 7 日

各 位

会 社 名 セーラー万年筆株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中島 義雄  
(コード番号 7992、東証第二部)  
問合せ先 取締役管理部長 山崎 彰  
(TEL : 03-3846-2651)

### 第三者割当による新株式発行の一部失権に関する補足説明について

平成 21 年 12 月 25 日に発表いたしました「第三者割当による新株式発行の払込完了及び一部失権のお知らせ」について下記のとおりご報告いたします。

1. 一部失権に至った経緯
2. 第三者割当増資の一部失権が当社に与える影響について

#### 記

##### 1. 一部失権に至った経緯

株式会社リザエステイトについては、当社と親密な関係を有する総合コンサルタント業の三菱総研研究所より紹介をいただいた先であり、払込に要する資金についても直近決算期の財務内容及び代表者個人の預金通帳を閲覧することにより確認しておりました。払込期日である平成 21 年 12 月 25 日の午前中に指定銀行口座への振込入金を確認されなかったため、当社管理部長山崎彰が株式会社リザエステイトに電話したものの応答がなかったため、代表者の渡邊尚子氏の個人の携帯電話に連絡したところ、応答があり経理担当者に連絡を取るとの回答をいただきました。渡邊尚子氏は所要で当日は会社に出社していなかったとのことでした。その後午後 3 時を過ぎて渡邊尚子氏より山崎彰宛に電話があり、担当者との連絡が取れないとの報告を受けました。さらにその後午後 5 時を過ぎて電話があり、経理担当者が当日の朝路上で転倒後入院していたため連絡が取れなかったためであり、また、銀行での振込手続きもできなかったとの報告を受けました。渡邊尚子氏は本件については全て自社の責任であり、当社への多大な迷惑をかけたこと謝罪しており、払込期日を経過した後であっても受入していただくか、もう一度第三者割当増資をして欲しいとの切なる要望を受けております。当社としては、今回の払込は完了しており、払込期日経過後の受入は困難と判断していると回答しています。更なる増資については、設備投資計画の見直し等を行った上で回答すべきものと判断しています。

大谷茂氏については、当社と親密な関係を有する総合コンサルタント業の株式会社船井総合研究所より紹介をいただいた先であり、払込に要する資金についても預金通帳を閲覧することにより確認しておりました。払込期日である平成 21 年 12 月 25 日の午前中に指定銀行口座への振込入金を確認されなかったため、当社管理部長山崎彰が大谷氏に電話をし振込手続きの確認をしたところ、知人に用立てた資金がまだ入金になっていないので入金されたら即時に手続

きをするとの回答でありました。その後午後 3 時頃に大谷茂氏より山崎彰宛に電話があり、知人に用立てた資金は本来当社の割当増資の払込に充当する予定のものであり、12 月 7 日の募集開始時点では準備していたが、その後知人から緊急に用立てを依頼され 12 月 21 日を期日としていたものの、どうしても 12 月 28 日まで延期して欲しいと要望され受け入れざるをえなくなったので本日中の払込が不可能となったとの報告を受けました。本件については当社に多大な迷惑をかけたとの謝罪を受けております。

## 2. 第三者割当増資の一部失権が当社に与える影響について

今回の増資による資金は全て当社の今後を担う設備投資資金として予定しており、一部失権による影響は小さくありませんが、特に必要な設備投資に集中することにより打開することといたします。

ロボット機器部門においては、既に発売を開始している新型標準取出機 RZ-Σ のマイナーチェンジはユーザー側からの要望に対応するために必須の投資であります。注射針自動インサートシステム及び食品メーカー工場の自動化ストックシステムは、経済環境の変動に対して比較的安定した業界である医療機器業界、食品業界向けの新製品開発であり、速効性を含めた当社の将来への貢献が大きく期待できます。低価格取出器及び UV ハードコート塗布システムについては幅広い業界向けの新製品開発であり、将来的に必要な投資ではありますが、速効性の判断から来年度以降の投資といたします。

文具部門においては、基幹システムである「X メニュー」の老朽化への対応は安全性、確実性、迅速性を確保するのに必須であります。また、消費不況の持続する中で新製品の上市は必須のものであり、これに対する投資は最優先すべきであります。

以 上